

〒260-0031 千葉県千葉市中央区新千葉2-17-6
E-mail:kidchiba@lily.ocn.ne.jp

サンコート新千葉102号

TEL:043-301-7262 FAX:043-301-7263

発行責任者：特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター

2016年10月10日発行 第82号 1部100円 <http://chiba.gekijou.org/>



子どもの人権への理解を深め 児童虐待のない社会のために私たちができることは？

11月は児童虐待防止月間、全国、千葉県の児童相談所における虐待対応件数の速報値が発表され、相談対応件数が一貫して増えつづけていることが分り、暗然としました。「子どもの人権」を柱に活動する私たちとしては、表やグラフだけでは読み取れない、もっとリアルな千葉県の実態をつかみ、行政からの情報を基に、日頃の活動に反映させたいと、千葉県児童家庭課、千葉県児童相談所を訪ね、資料を基に担当職員と意見交換をしました。

◆ 2015年度の千葉県の実態と傾向

- *平成27年度千葉市を含む千葉県の相談件数は、6,669件で、前年比12%増えている。(以下の項目のデータは千葉市を除く千葉県のもの)
- *被虐待児の年齢別割合は3歳未満19%、3歳～学齢期前24%、小学生36%、中学生14%、高校生・その他7%である。
- *主な虐待者は、実母53%、実父39%。
- *心理的虐待、身体的虐待、ネグレクト、性的虐待の順に多い。特に心理的虐待が著しく増えているのは、DV家庭における「子どものDV目撃」が増えたことがある。
- *相談の経路としては、警察から児童相談所に通報する場合が45%と最も多い。
- *相談、通報があった場合、直接会って安全確認し、面接指導や見守りをする。9割は長期的な保護者との分離までは必要のない面接指導で、在宅で児童福祉司、専門家と連携し、主任児童委員などとネットワークの中で支援をしている。

◆ 急増に対応する千葉県の施策は

2016年度、千葉県は、中央児童相談所への子ども家庭110番の電話相談員、6児童相談所への安全確認協力員、虐待対応協力員、心理療法担当職員を増員するなど、防止体制の強化と共に専門家とのネットワークを強化した。

◆ 千葉市児童相談所でも、虐待通告対応件数・一時保護児童数が増加

千葉市では1,101件の虐待通告対応件数。施設が満床等の理由により一時保護期間が延びたり、保護児童数が増えて居室が不足したりする等の状況も起きている。職員が増員されたが、一人ひとりの子どもと丁寧にコミュニケーションをとる時間の確保に苦慮している。



「日本子ども虐待防止学会」
千葉大会公式イラスト
「ちばこどもおうえん広場」
(11/3 10:30～12:30 きぼーる)
施設で育った方の話を聴く懇話会

◆ 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援のために「子育て世代包括支援センター」を

2016年6月公布された、国の児童福祉法の一部改正に含まれる施策で、努力目標だが、現在の138市町村↓251市町村に設置予定。妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を通じて妊娠や子育ての不安、孤立等に対応し、虐待のリスクを早くみつけ、減らしていく方向だ。望まない妊娠、産後うつなどの現実があるからだ。

◆ 私たち民間にもヒントになる最前線の話

*児童相談所は、子どもを丸ごと受け止める一方で、ケースワーカー等の職員が両親の話をきいていく。児相での生活では落ち着いて過ごす時、親と会うとカッとなる場合がある。こういう時、手に負えないと投げ出したくなる保護者に、子どもの特性を伝えたり、暴力を繰り返す保護者に寄り添って何度も話を聴く。その結果、保護者は子どもを理解しようとするようになり、子どもに謝ることもできるようになる。その背景には、苦しみながら孤立している家族が多くあることが見えるという。

*「チャイルドライン」や「ママパライン」は、電話での一期一会だが、勇気を出して電話してきた人の気持ちに寄り添って話を聴くことが、問題解決につながるのだと、この訪問で確信できた。民間の「傾聴」のラインの使命を改めて認識し、誇りを持って開設していきたい。

*地域の子育てひろばや地域のサークルに参加している人が、ふとしたタイミングでグチのようなため息のような話をするのをきいた経験は多かれ少なかれあるのではないか。そんなとき「今日は聴かせてもらおう」と意識して聴くことにはきつと意味がある。

◆ 児童福祉施設へ豊かな芸術体験を届けます
子ども劇場千葉県センターでは、県内6児童福祉施設・1乳児院にいる子どもたちに、プロによる生のおしぼいと、子どもたちの参加型ワークショップを届ける。子どもたちがワクワクした気持ちで舞台芸術に触れ、楽しいワークで笑顔になる瞬間を見届けたい。

*この記事は、資料「児童虐待をめぐる千葉県の現状について」と千葉県、千葉市の二人の児童虐待防止担当職員等の協力で作成しました。
*安全確認協力員・虐待対応協力員↓社会福祉士等がかかわっている

始まりました！！県内の新たな子どもたちと芸術家が出会い、豊かな時間、感動がまた、生まれています。

横芝光町 白浜小学校 9月12日(月)

41人(5・6年生) 国語

芸術家：半田晶子 河野麻子 松本伊代、山本千絵

内容：体を動かす、発声、コミュニケーションゲーム、
「どんぐりと山猫」配役で音読、詩をグループで演技を付けて発表

事前に台本をもらい配役、しかし練習はしない、との指示で不安げだったが、イメージゲーム「5人で岩になろう」「4人で波」で笑顔になった。おなかを意識して声を出すと、声も表情も明るくなった。「どんぐりと山猫」を講師の言葉をヒントに背景を想像しながらセリフを言い直すと、本当に声が変わるので互いにびっくりしたり感心したり。好きな詩のグループに分かれて、動きや読み方を工夫した。真剣にグループで相談し練習して、舞台では緊張しながらも堂々と発表し満足そうだった。「普段の音読と違う声が出ていた」と、互いの様子をよく見ていた。

香取市 小見川東小学校 9月26日(月)

32人(5・6年生) 5年生国語 6年生総合

芸術家：三遊亭時松 春風亭正太郎

内容：落語の解説 手ぬぐいと扇子での表現実演 児童も高座で「しぐさ」の体験 落語「牛褒め ぞろぞろ」

最初とはとても緊張していた子どもたちも、「落語ってウソ話なんだよ」から始まる噺家2人の軽妙な語り口にどンドン引き込まれていった。自分たちの書いた言葉で場面を想像することの体験、手ぬぐいや扇子の使い方の技を見たり実際に高座に上がり手ぬぐいや扇子を使ってしぐさすると、おもしろおかしくて気持ちがほぐれ、手があがり声が出るようになった。後半は落語を聴きながら、想像の世界に入り込んだようで、体を揺り動かしながら笑いこける姿で溢れていた。子どもたちは本当によく笑った。

千葉市 若松台小学校 10月4日(火)

23人(4年生) 国語

芸術家：柳家花ん謝 柳亭市弥

内容：落語の解説。小噺。落語「牛褒め」「初天神」。手ぬぐいと扇子で仕草をやってみよう。高座に上がった子どもたちが仕草をやってあてっこ

いつもの教室に緋毛氈と紫の座布団の高座が出現。噺家が表情豊かに語るにつれて、クスクス笑いから顔をうずめて体を揺らし笑う姿に変化した。子どもたちが仕草を披露するとき必ず出離子がついて本格的。すぐには手があがらなかったが、担任が披露すると、自分もやってみよう！と希望者が続出。普段おとなしい子が積極的に手をあげ披露する姿に担任も驚いた。全体に、仕草を見せる方も答えをあてる方も一生懸命で一体感があつた。最後に講師の「落語に興味を持った人は？」に対して全員が挙手で応えた。

市原市 有秋南小学校 9月9日(金)

43人(6年生) 国語

芸術家：大藏教義 宮本昇 上田圭輔

内容：狂言の解説、「柿山伏」上演、登場人物クイズ、構え・摺り足・発声、装束着付け

『昔の人は意外におもしろい、なぜ思いついたのか不思議。いつもとちがうしゃべりかた、笑い方、立き方、姿勢など学べてたのしかった、表情表現が面白い、ひとつひとつのうごきにきまりがあり、簡単そうに見えた「かまえ」もむずかかった』など、古典芸能は難しくて、生ならではの魅力で味わい、楽しめた様子が、アンケートから読み取れた。「何だか古めかしく、大人の観るもの、よくわからない」という子どももいたが、体験で一気に気持ちが変わった。そう言っていた子が「君いいよ！」と言われて「マジうれしかった」と言ったり、ふだん笑わない子たちが笑っていた。担任は子どもの新しい面が見られたと、うれしそうだった。

山武市 緑海小学校 9月13日(火)

55人(3・4年生) 音楽

芸術家：歌子 古川一 上村純

内容：歌とギターの実演、楽器体験、音楽会の課題曲「世界がひとつになるまで」を練習



最初からヤル気満々の様子で子どもたちが体育館に入場。歌子さんのハイタッチの挨拶で笑顔がいっぱいになる。純ちゃんのギターを抱える姿に「シンガーソングライターだ」と声が出る。「世界がひとつになるまで」を練習するのが今日の目的。「歌詞を感じて歌ってね」「中間の歌や伴奏を感じて歌うのよ」だんだん子どもたちはリズムに乗って感情を込めて歌う。最後は心と体が解放され、友だち同士顔を見たり、自然と手をつなぎ始めた。ジャンベを横にして頭を入れて音を聴くと「うへ〜！ちょー感じる」にぎやかに盛り上がった。

千葉市 高浜第一小学校 10月3日(月)

70人(5・6年生) 音楽

芸術家：BB モフラン ダウディ 當間典子

内容：アフリカの音楽を歌とパーカッション、ピアノ、ギターで実演。子どもたちも掛け声、手拍子、足拍子、ダンスで参加。同じ音でも意味は全く違う日本とアフリカのこぼれについてのクイズ。全員がパーカッションをたたいてリズムをあわせる体験

8人ずつ9列に規則正しく座っていたが、トーキングドラムにあわせて「どんぐりころころ」を歌い緊張がほぐれ笑いが吹き出した。「みんなの心の中に音楽はある。楽しくやろう」と講師。初めてさわるアフリカのパーカッションを真剣にたたき、もっとやりたい様子。ダンスも弾んで、からだいっぱい表現した。日本を含め11か国の子どもたちが学ぶ多国籍の学校。「日本語がわからなくても楽しかった。またやりたい」という声があつた。

柏市 手賀西小学校 6月20日(月)

18人(3年生) 音楽

芸術家：松本雅隆

内容：新聞紙の組曲づくりと演奏 紙筒を使った楽器づくり 班毎発表

雅隆さんは、もの静かな口調で子どもたちに語りかけ、全体の空気感はおだやかで心地よい。新聞紙でつくる組曲では、きもちのいい風の音と、きもちの悪い風の音を、新聞紙をヒラヒラさせたり、バンバンとたたいたりして、音の違いを感じ合つた。バグパイプも加わつての演奏では、おまつり気分となり、子どもたちのおもしろがりほどんどん増し「楽しい！」という表情がどの子にも溢れていた。紙筒など身近なもので素敵な楽器ができることに驚き、歌を歌いながらつくつた。
♪ほーい ほい なにができるかな ほーい

流山市 八木南小学校 9月13日(火)

27人(6年生) 国語

芸術家：大藏教義 宮本昇 上田圭輔

内容：狂言の解説、「柿山伏」上演、登場人物クイズ、構え・摺り足・発声、装束着付け

子どもたちの緊張した様子で始まった。話す声と狂言での声の違いに驚き、構えや摺り足では丁寧に動き、笑いではちょっと恥ずかしそうだったが、声も大きく出て、自信をつけていく様子が見て取れた。「太郎冠者」と「伊茶」の装束をつけた友だちの変わり方に驚き、緊張感がワクワク感に変わっていった。講師への親近感と素直な尊敬のまなざしで集中していて、きゅっとまとまった感じがした。終了時は子どもたちが正座をし、自然と手を着いてお辞儀をしていた。

君津市 貞元小学校 9月29日(木)

57人(5・6年生) 音楽

芸術家：安西真幸 石川幸季

内容：現代舞踊ワーク、ウォーミングアップ、表現遊び、振り付け、「情熱大陸のテーマ曲」で発表

何をやるのか不安、ダンスははずかしそうな子もいたが、講師の体の動き、分かりやすい言い方の振付に、あつという間にとりこになっていた。「いやーん、ばかーん」「ゲー、チヨキ、パー」も、曲がわかるとかっこいい振付になり「できる、できる」とノリノリだった。イメージを自分なりに表現する学年別パートも組み合わせ1つの作品を作り、下級生に発表した。真剣な顔でイメージをおさらい、プロのダンサーと踊って、「ダンスして気持ちよかつた」と、晴れ晴れした満足そうな表情で誰もがはちきれた。

子どもが安心できる居場所であり続けたい！



チャイルドライン千葉は、1999年6月の開設から2016年3月までに約10万9千件以上の電話を受けています。人間関係や自分自身の悩みなど様々なことをかかえている子どもの声を受け止めることができたのか、これで良かったのか、また子どもが安心できる居場所になっているのか、電話の声を聴きながら気持ちが揺れ動くことがあります。正解がないからこそその自問自答が生まれます。今回の受け手のための研修会は、NPO法人ネモちば不登校・ひきこもりネットワーク理事長の前北海さんと、ネモネットが運営するフリースクールに通う中学生のお話を聴く機会を持ちました。

(講師：前北海さんの講演より一部抜粋)

前北さんが問いかけたこと



【その声掛けは誰のためですか？】

「子どもが主人公であるということを忘れないでください。お母さん役や大人役は捨ててください。共感したいと思うあまり「なんで？どうして？どう思う？」と聞いてしまうことがあります。子ども自身にも本当の理由はわからないのに「なんで？」と訊かれると困ってしまいます。もう子どもはしゃべりたくなくなります。原因を知ることが急がないでほしいと思います。」

子どもがかけてくる話に共通しているのは、自分のしんどさをわかってほしいと訴えていることです。子どもの気持ちを受け止めるということは、今の気持ちをそのまま受け止め、わからない気持ちも子どもに合わせることです。

【自分のものさしで子どもをみないで】

「常識、非常識にとらわれなくて欲しいです。自分の価値基準で判断しないで、子どもの気持ちに立って考えてみてください。子どもはしんどいのですから。自分のものさしを捨てると子どもが話しやすくなるのではないかと思います。」

苦手できないことがある子に、「これくらいはできていた方がいい」という自分の価値基準での声掛けでなく、その子の中にあるものさしで「こういうことができるんだね」と、その子の気持ちに立った声掛けをしたい。

【子どもが答えをもっている】

「電話をかけてくる時点でだいたい答えをもっているのです。悩みを減らそうとか、悩みをきいてあげようと思わなくていいのでは。悩むことは悪くない。ただ悩みを誰かと共有できないことがしんどいのです。」

子ども自身が解決する力を信じて次の一步を踏み出せるよう傾聴したい。「何度もチャイルドラインに電話して、そのとき、そのとき自分の考えを整理している」という子どもの声がありました。

前北さんが問いかけたことを受けて

前北さんが問いかけた内容は、「子どもに添う」という傾聴の基本に立ち戻り、チャイルドラインの使命をもう一度振り返る貴重な学びとなりました。お二人の話は、チャイルドラインに電話をかけてきた子どもの代弁者そのものであり、受け手の戸惑いを吹っ飛ばしてくれるような明快なものでした。チャイルドラインは、電話をかけてきた子どもはもちろんのこと、かけてこなくてもここに電話をすれば聴いてくれると思うだけでも、子どもが安心できる居場所のひとつになるのだと、再認識しました。



子どもの声を受け止めるもう一つのツール オンライン相談トライアルを実施しました！



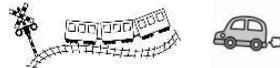
夏休み明けの子どもたちの自殺のことが社会問題になっています。チャイルドライン支援センターでは少しでも子どもたちの不安な思いを受け止めようと3月に引き続き、チャットによるオンライン相談を土日を除く8月29日～9月9日に実施し、子ども劇場千葉県センターも参加しました。

この10日間にアクセスのあった利用回数は843回で、そのうち対応した件数は117件でした。(対応率は14%)内訳は、学校や部活に関することが44件、家庭に関することが19件、気分の落ち込みなど心に関することが22件、その他が16件となっています。また平均対応時間は45分でした(電話は平均15分)。

自分の置かれている状況やどうなったらいいかを送信してくるなかで、気持ちをききながらやり取りをし、話せてよかった、少し気持ちが整理できたと終わるのはチャットも電話も同じです。オンラインも開設してほしいとの声も多く、発語や聞こえづらさを抱える子どもにとっても電話以外のツールは必要です。トライアルを重ねながらすべての子どもを視野に入れたチャイルドラインを目指していきます。

訪問した課・職員

子育て支援課 教育委員会
市民活動推進課
会った職員の数：68人
9/30日までに訪問した市町：25市町
訪問した理事の数：延べ58人



いすみ市
市では、慢性的な人口減少に直直し、他地域からの移住、定住促進活動の取り組みが行われているとのこと。特に子育て世代に力を入れている。市内のまちづくりNPOが事業の一つを受託し成果を上げている。ママパラインの趣旨や声の傾向等を伝えるべく、「民間の垣根が低い電話がいいですね」と共感してくれ、市内小学校11校へ156枚のカードを配布してきた。役所にかけるのは名前が分かるのでは？と、敬遠する方も多かった。

酒々井町
子ども課のカウンターには、ママパラインのカードが置かれていた。担当者は変わっても、保育園や子育て支援拠点へのポスター掲示やカード配布依頼とともに子育て事情の情報交換もできた。チャイルドラインでは11月23日での講師依頼があり、中学生や地域の人たちに、話すこと、聴くことの意味を伝える機会を得た。学校とのネットワークは、毎年の訪問でつながった成果です。

野田市
「文化庁事業受かったのですね。」と、担当の方が喜んでくれた。野田市では3校で実施することから、そのリスト一覧を見ながら、「候補に挙がっているよ、こんなラッキーはない。」と、その場で実施する学校に電話していた。教育委員会も当日ぜひ観に来てほしいと伝えられた。児童家庭課の課長さんから、子育て支援室の野田市子育て支援情報局HPへのリンクを頼んで支援情報とよいと教えてもらった。出前講座一覧を注意深く見てくれた。

富里市
毎年の出生数は400〜500人くらい。成田空港での仕事の縁でここに住む若い人たちも多い。アパートも多いし、地価が安いので家を建てやすらしい。保育園には子育て支援センターがあり、利用する親子も多いとのこと。市にも相談電話があるが、子どもからのお電話はない。子どもたちは命の大切さについての冊子を毎年発行している。チャイルドラインの電話番号を、市の情報紙に載せるよう検討しますとのことだった。

訪問して話した内容
*千葉県センターの事業案内
*チャイルドラインポスター・カード配布依頼
*ママパラインポスター・カード配布依頼
*出前講座、講師派遣の提案
*子どもや子育ての状況についての意見交換。チャイルドライン・ママパラインの声や傾向等の意見交換
*文化庁芸術家派遣事業の趣旨説明と成果
*市の情報紙に、ママパラインやチャイルドラインの掲載依頼。

浦安市
チャイルドラインを教育委員会で発行している。行政のパンフレットに載せている。行政の電話に話しては5時までなので21時までやっていてくれてうれしい。「ばんばん掲載しやすそう」と大変好意的。また中学生サミット「各校代表G9を市長の希望で実施した話から、電話相談担当の方がオンライン相談に共感、夏休みの登校日があるのは、1校だけだが、9月でも間に合うのは是非中学校に知らせたいと言っていた。

御宿町
中学校は1校のみ。高校は統合までついになくなった。廃合でついになくなった。聞き慣れない「布施学校組合」についてお聞きした。学区がいすみ市と御宿町にまたがる県内唯一の組合立小学校で、昭和30年の町村合併の際に布施地区が組合をつくり設置された。「住民同士の色もつよ、地域で子どもたちを育てています」と話してくれた。市内の子育て支援センターではコンサートの企画も実施しているとのこと。鑑賞のコーディネートもできると伝えた。

勝浦市
「どんな電話でもいいよ、というのは子どもたちがカードを見て理解できていますか?」と質問があった。職員の方は「電話が苦手なので、メールの方がいいな」と。チャイルドラインに新しく「勝浦市芸術文化交流センター」ができていて、舞台芸術のコーディネートもできると伝えた。文化庁芸術家派遣事業に関心が高く「次年度決まったらぜひ声をかけてください」と言われた。

旭市
子育て支援課の2階は子育て支援センターになっている。入口にはベビーカーがたくさん置かれ、元気な子どもたちの声が聞こえてきた。一方で、担当課のお話にもうなぎり増え、要保護対象件数も上がり、年間60〜70件あり、家庭児童相談室、健康管理課、教育委員会と、庁内での連携を密にしているとのこと。ママパライン事業を説明すると、「思いは同じですね。」と応じてくれた。

芝山町
小学校は統廃合により、芝山小学校1校となった。最初は初めて顔を合わすことで、子どもたちはぎくしゃくしたが、今は落ち着いていく。自然は多いが実は子どもたちが遊ぶ場所はありません。そこで教育委員会主催の「若竹塾」を開催している。土で埴輪をつくる体験や、地引みど体験など自然体験を主にやっていると伝えた。自然体験以外にぜひ、文化芸術体験もプログラムに入れませんかとお勧めかけた。

佐倉市
今回も市民活動推進班で子育て支援課、教育委員会の担当者の日時を調整していただき、同席して事業説明・報告、意見交流をするのが出来た。ママパラインのポスターは「多くの人の目にふれた方がいいですね」と市内全保育園・幼稚園に貼っていたらしくこの際、40枚追加のうれし対応。子ども総合窓口が設置されており、養育者や家庭にとってやさしいワンストップサービスが実施されていた。

鴨川市
子育ての手法がないことや就職でこちらに来て、身内がある人はいない等、子育てに不安のある人がいる。自分から相談に来る人は少なく、関係機関からの連絡があるケースの方が多い。情報が多いので不安になっている。寄り添って聴くというのにはむずかしいですね。判断や答えを求められたりする時は、子どもと聞かれ「傾聴」の話をしました。文化庁の事業についても興味を持たれ、すぐさま房総の実地報告をみて、ぜひ見てみたいと話された。

山武市
教育委員会では市内4校で文化庁事業を実施します、と伝えると「お世話になります」とのこと。是非見に来てほしいと日程を伝えた。チャイルドラインの報告書を見ながら説明すると、教師経験のある担当者からは「郡部の子ども、感想がいつも変わっていくですね」との感想があった。ママパラインのカード配布はこれまでの実績から、すぐにOKが出た。子育て情報誌への掲載は2年に1回作成しているので次回検討しますとの返事。

市町村行政訪問で子どもや子育ての課題や情報を交換!

2016年度は市町村行政訪問がはじまっています。子ども劇場千葉県センターでは子どもや養育者の諸問題解決のために、ネットワークを更に広げるという目標をもちました。そのネットワーク強化のために、出前講座や講師派遣の実績一覧も持参し、各行政の子ども・子育て施策情報を事前に調べ、訪問により市町村の子ども・子育ての様子や行政課題を聴き、意見交換することを大切なポイントとしました。私たちが、市民からの一方的な主張に終えず、子どもや子育てに関する行政の情報も共有して一緒に解決する姿勢を持ちたいと思っています。

館山市
教育委員会と子ども課と連携でお話しをし、交流した。子ども課の家庭児童係では、虐待等も扱っているそう。ママパラインの電話の内容や傾向への関心が高く、意見交換ができた。教育委員会からは、九重ワークを楽しみにしているとのこと。館山の子どもたちが授業で芸術体験できて感謝している。ぜひ見に行きたいと言っていた。千葉県センターがいろいろな事業を行っていることに感心され、エールをいただいた。

市川市
保健センターの若者のためのテレホンガイドにチャイルドラインを掲載している。今年以降は、チャイルドラインのカード配布は教育センターと決まっています。オンライン相談に共感、中学校全校にポスター配布、子育て支援課すこやか応援隊では、職員の手作りおもちゃがお出迎え、窓口に来るママを和ませる。ママパバのカードを手渡している。と、協力を惜しまないと言ってくれた。

船橋市
市内54小学校、4〜6年生分のチャイルドラインカード18,770枚を40校×学級数の打診・意見交換できた。不登校児童の居場所、学びの場である教育センター、青少年センターに、指導課を通じて100枚ずつカードの配布もできた。職員が「だれか気持ち悪い聞いてくれる人がいるだけでいいこと多い」とよくわかります!と共感され、団体、事業への理解は深まっていると感じた。

流山市
「母になるなら、流山市」のキャッチコピーが有名になり、つくばエクスプレスの沿線は子育て世代の流入が続いて、子ども課では子育て支援サービスの状況など地域課題の話もされた。子ども専用電話いじめホットラインは21時まで対応、学校現場とも情報共有しているなどの情報を得たり、八木南小学校での文化庁事業実施の報告など、ポスターやカード配布依頼以外の交流もできて行政訪問の意義を感じた。

習志野市
「マホネグレクト」が子育て支援の現場で問題視されている。今時の親は、子どもが赤ちゃんの時からスマホのアプリケーションで泣き止まなかったら見せるなど利用。また、授乳やお出かけ時にもインターネット、メールラインに夢中、視線が合われない子どもがいると心配していた。チャイルドラインのカードを見本には、部課長会議一用に鑑文と見本のカード30部を提出し、その後定例校長会議にも80部提出し、定例の校長会議に出席を許可され、1分のアピール時間も与えられる。

南房総市
子育てハンドブックの電話相談のページに「ママパライン」を掲載している。カードを出生届の時、3か月検診、3歳児検診などで配布している。子育てひろばなど目につくところにポスターも依頼して、子育て支援にも力を入れていることが伺える。文化庁の芸術家派遣も2校実施することを伝えました。子どもたちに良い体験になりましたね、と言ってくださった。ぜひ、校長先生と話し見学してほしいと伝えた。

津凧市
子どもたちから届く声、そこから見える背景など話し、良く聞いていたんだ。市では子どもの電話は開設していないとのこと。広報には協力したいと言われた。子ども家庭相談室では、対面でも電話でも相談を受けているそう。ママパラインの報告や説明を熱心に聞いてもらえた。また、子どもを守る地域ネットワークで作成されたパンフレットにチャイルドラインが掲載され、4年生の児童に配布されたとのこと。市独自でも番号の周知ができています。

市原市
チャイルドライン等、緊急時の対応や、傾聴等講座実績リストの内容や対象者について質問を受けた。虐待等子どもや養育者の現状の厳しさを、民間も行政と連携しながら力を出していきたいことをアピールした。「市原市子育てガイドブック(行政情報編)」に、民間は掲載されておらず、他市の例も出し、ママパライン等の掲載検討をお願いした。文化庁の芸術家派遣事業は、市内6校で実施している。授業の効果を大変高く評価された。

大多喜町
教育委員会ではチャイルドラインの受け手についての質問があり、研修を受けていたボランティアが受け付けてアドバイスでなく気持ちに寄り添い傾聴する電話であることを伝えることができた。子育て支援課では受付カウンター前にママパラインのポスターが掲示されていて、カードも置いてあった。町で発行の広報誌に掲載は可能との事だったので、年度末に再度の掲載依頼をしてみたい。

東金市
東金市は虐待の件数が山武郡市で一番多く、生活が不規則な家庭が多く、教師も心も痛めているという話を聞いた。子どもたち自身は昔とあまり変わらない、社会環境が激変していることなどの意見交換もできた。他市の中学校でチャイルドラインのことを話した実績を説明すると「そんなことがさがるんですか」と驚いた様子だった。ぜひ「いのちの授業」などで活用してくだされと、働きかけた。

横芝光町
ママパラインのカードは出生届けに挟んで配布している。相談できるところはいろいろあった方がいいですねと、保育園を追加してほしい。文化庁芸術家派遣事業を白浜小で実施した様子も伝えた。これから実施の2校で子どもたちの体験の様子を観てほしいと伝えている。12月の学校検診など忙しいが、10月の学校検診など性があるので、みてみたいと言ってくれた。父兄用の相談ダイヤル一覧にチャイルドラインを掲載している。

持参した資料
*2016年子ども劇場千葉県センター事業案内
*出前講座、講師派遣の実績一覧
*各市町村の子ども・子育て施策
*「傾聴の文化を広げる講座」案内チラシ
*ミッションパンフレット
*年次報告書(ママパライン・チャイルドライン)、ポスター・カード
*情報紙「ぐるっと房総」

ボランティア募集

お気軽に
連絡ください

本来NPOは、ボランティアの活躍や寄付を集めるなど、社会から信頼され、NPOの姿がはっきりと見えるような豊かな市民社会の先頭に立ち、市民社会の底上げに貢献していくものです。そこで子ども劇場千葉県センターでは、各事業で様々なボランティアを募集し、より多くの方々にかかわっていただきながら、エクセレントNPOの「市民性」を強化して参ります。

①「チャイルドライン千葉」や「ママパラインちば」の受け手ボランティアやアドバイザー募集

●チャイルドライン千葉(2001年より開設)

18歳までの子どもがかけられる子ども専用の電話

●ママパラインちば(2002年より開設)

養育者や家庭の子育ての悩みや不安を聴く電話
両ライン共、かけてきた方に寄り添う「傾聴」を基本にした、電話の受け手を募集しています。子どもや子育て・人の話を聴くことに関心のある方どうぞ!

②イベントの手伝い、「チャイルドライン千葉」や「ママパラインちば」の広報周知のカード仕分け、ポスター掲示他の運営ボランティア募集

「チャイルドライン千葉」や「ママパラインちば」では、子どもたちや養育者に情報を届けるための広報周知が欠かせません。アドカード配布やポスター掲示のための仕分けや、配布・発送の準備、運営の手伝いなどのボランティアを募集します。また、イベントのスタッフも募集します。

③「長期入院の子ども・福祉施設にいる子どもを笑顔にする事業」のコーディネーター募集

長期入院・福祉施設にいる子どもたちを笑顔にするため、病棟や施設にプロによるパフォーマンスやワークショップを届けています。この事業は2008年から開始し、11病院・3福祉施設 延べ87回 4,365人に届けてきました。子どもたちのとびっきりの笑顔は感動的で、付き添っている保護者の方々もほっとする時間になっています。病院や施設と芸術とをつなぐコーディネーターを募集します。

④「学校への芸術家派遣事業」のコーディネーター募集

一流の芸術家が学校を訪れ講話、実技披露、実技指導を実施するものです。(=体験型ワークショップ) 子どもの表現体験は、子どもたちの思考力や、コミュニケーション能力・判断力・表現力などを身につけ、自己肯定感や社会性、協調性、責任感などの育成に大きな効果をもたらします。県内の小・中学校の子どもたちに、体験型ワークショップを提供・調整・実行するコーディネーターを募集します。

ボランティアのご希望があった場合は、まず直接お会いする機会をもって説明し、お話しをお聴きして齟齬がおきないように、オリエンテーションも入れた丁寧な対応をさせていただきます。

連絡・問い合わせ先：特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター

〒260-0031 千葉市中央区新千葉 2-17-6 サンコート新千葉 102号

TEL: 043-301-7262 FAX: 043-301-7263 E-mail: kidchiba@lily.ocn.ne.jp

関連する講座・研修会等

☎ 第11期「チャイルドライン千葉」の受け手養成講座のご案内

開講時期：2017年2月～8月まで 毎月1回の講座で13回 1回2時間～3時間

受講料他：受講料12,000円予定 募集人数15名

☎ 「ママパラインちば」受け手研修会のご案内

日時：2016年11月22日(火) 13:30～15:30 プロミスお客様サービスプラザ 資料費：500円

講演内容：「養育者の気持ちに応える支援」 講師：永瀬春美さん(NPO法人 子育てひろば ほわほわ顧問。同法人の事業として子育て相談室いっぽ、いっぽを主宰)

◆子ども文化地域コーディネーター研修会

日時：10月18日(火) 13:30～16:30 会場：千葉市文化センターセミナー室

講師：中川幾郎さん(子ども文化地域コーディネーター協会理事長) 主催：千葉市文化センター



自分がしたいことから始めたら道がひらける

千葉市市民活動支援センター 館長 出納 いずみ

■2014年「千葉市市民活動支援センター」を「NPO法人 まちづくり千葉・リベルタちば」で指定管理を受けてから、今年は、最後の3年目。当初は、政令市のセンターをスタッフや共同代表とともにスムーズに運営できるかどうか、不安な面もありました。互いに力を補い合って、すすめてきた3年でした。これから1年の最大のイベント「千葉市市民活動フェスタ」「シニアセミナー」「ファシリテーション講座」「千葉市を元気にするミニシンポジウム」とまだまだ続きます。ほっとしている暇は、ありません。

■館長として、意識的にやりたいと思ったことは①「ちばさぼ通信」に「市民団体のページ」を入れること。読みやすく、わかりやすい紙面をめざす。②スタッフが意見を言いやすい環境づくり。③市民や団体が利用しやすく、団体の「困った」問題を解決できる手助けをする、などです。■まず、通信の「市民団体のページ」は固定され、団体紹介、イベント紹介が隔月で掲載されるようになりました。

団体には喜んでもらっています。また、スタッフには、何かあるごとに意見を求めました。さらに年2回のアンケートによると「対応が親切。満足している」の割合が高く、日々対応のスタッフに感謝です。「専門家による講座」「ちばさぼセミナー」（団体主催）などの講座は、初めて来所の人々も集めました。「専門家による相談」は無料で、税理士、行政書士、社労士、NPO・市民活動入門相談などできるので、団体の「困った」問題を少しは解決できたでしょうか？

■「やること」はまだまだありますが、どこにいても「すすむ勇氣」と「力を尽くすこと」を怠らなければ、道は開けるでしょう。

■最後に、「チャイルドライン」「パパママライン」など子どもたちと親たちに“笑顔”を与えたいと活動を続けている「子ども劇場千葉県センター」の皆さんに、さまざまな課題をのりこえて、続けて地域でがんばっていただきたいと心より願っています。

芸術の力を身近なものに

公益財団法人千葉市文化振興財団 主任主事 斉藤 麻里

私からのメッセージ



当財団は、現在指定管理者として、文化施設の管理運営を行い、同時に千葉市の文化・男女共同参画行政を補完する公益財団法人です。

「文化行政」を補完する活動とは、例えば優れた舞台芸術の鑑賞やさまざまな文化的体験の機会の提供。イベントを運営するボランティアの育成。文化情報の収集・発信などなど。これまでもその活動は多岐にわたっておりましたが、昨今ではさらに進んだ取り組みを求められています。そのひとつが、「アートマネジメント講座」です。全くと言っていいほど一般的ではない「アートマネジメント」とは、言葉だけ聞くと芸術活動の経営・財政的側面についての講座かと思われるかもしれませんが。経営・財政面もさることながら、異なる芸術分野をコーディネートしてお互いの課題を解決したり、芸術活動が地域社会に対して何らかの役割を果たすための調整をしたりすることも含まれています。

ただ存在するだけで、それなりの力を発揮するのが芸術だとは思いますが、芸術を深く理解し、その力を最大限発揮するための知識と技術とを、さらには

地域社会が求めるニーズと合致させる力を持ち合わせた人がいれば、芸術が一部の人の教養や娯楽にすぎないという誤解から解放されるのではないのでしょうか。

来る10月18日に、アートマネジメント講座として、「子ども・文化・地域」をテーマに、「地域をつなぐアートの力」と題した中川幾郎氏による講演会と参加者同士の意見交換会を開催します。この講演会実施をとおして、長年「子ども・文化・地域」のために活動をされている子ども劇場千葉県センターのみなさまとお近づきになることができました。

さまざまな立場で活動を行っている人・団体がつながることで、子どもたちが自らの可能性を見出し、育んでいけるチャンスを増やしていけるのではないかと思います。子どもたちには、自分の「好きなこと」や「得意なこと」、「夢中になれるもの」をたくさんの失敗と成功の経験から見つけていってほしいです。そして、豊かな文化の担い手へとなっていただければと念願しております。

子どもキャンプ

2泊から3泊にして子どもの関係に変化が！

子どもプラザ成田では、2008年から2011年まで2泊3日の子どもキャンプでしたが、2012年に3泊4日に戻しました。（※2007年までは3泊4日の子どもキャンプを実施）2泊3日のキャンプと3泊4日のキャンプでは、何が違うのでしょうか。子どもたちの様子は？そして子どもたちを見守った大人たちは？暑い暑い4日間のキャンプを追いました。

日にち：8月19日～22日

場所：秩父市浦山口キャンプ場

参加者：23人 スタッフ4人

実行委員会：青年1人

中学生4人

実行委員長：中学3年生1人

■子どもの熱い”おもい”からスタート

2007年、サポートする大人が4日もの長い日程を確保するのがだんだん難しくなり、2泊3日への移行を、子どもたちのおもいを聴きながら、大人の気持ちや言い分も聴いてもらい、最終決断をして4年間実施。しかし2012年、実行委員の中高生から「子どもキャンプを3泊4日に戻したい」「4日間があれば丸1日フリータイムの時間がとれ、自分の班以外の人とも交流できるし、たくさんの人ともかかわれる」との熱いおもいが大人に提案され、そのおもいに大人は動かされた。

■大人側の共有化を丁寧におこなった

当時3泊4日のキャンプ実現に向けては、理事会や子ども担当の大人の間で、2泊3日と3泊4日のキャンプでは、子どもたちにとって何が違うのか？意義の意思統一が必要で、そのために何度も話し合った。

「はじめての子どもたちは飯盒でごはんを炊き、自分たちで食事を作り、班単位の生活という全くやったことのない体験となり、もうそのことで精一杯だよね」「慣れるのに時間がかかるし、緊張感もあってなかなか自分を出すこともできない面もあるよね」「3日目もなると、だんだん地も出てきて、自己主張のぶつかりあいや、気の合う仲良しとのあそびやおしゃべりも始まる」「2泊では体裁を整えられるが、3泊となると我慢も限界、本音が出てくる」「子どもたち間でトラブルも起こるし、青年や高校生の力も発揮されて、あんなお兄ちゃん お姉ちゃんになりたいという思いも生まれる」。2泊と3泊両方を経験した大人からは「2日目に嫌なことがあっても翌日帰れるなら我慢できるけど、もう丸1日となると解決するために何らかのアクションを起こさなくてはならない」「2泊ではさらっと過ぎてしまう。自分がやりたいことをやりきったり、いろんな違いに慣れるには時間がある」・・・等々。

そして、子どものためのキャンプであればこそ、その中で何が養われていくのか、私たち大人は何を大切にしていけるのか問われていると、大人の議論がし尽され2012年、3泊4日のキャンプへ戻った

■そして今年の4日間のキャンプ

- ・ファイヤーがすごく良かった（4年）
- ・ハイキング雨で行けなくてさみしい（4年）
- ・初めてだったので最初はきんちょうしたけど、だんだん慣れてきたのでとても楽しかった。来年は実行委員をやるので、みんなをまとめたいです（6年）
- ・今年も実行委員さんのおかげで楽しかったです。来年は僕も実行委員をしたいです。（6年）



- * ちょっときつい言葉で言われたことが辛かった様子の子、寂しい、悔しい、悲しい、嬉しい、いろんな感情を味わい濃い4日間を過ごす中で消化していったようだ。
- * シャイで友達づくりが決して得手ではない思春期真っただ中の女子も、日を過ごすうちおしゃべりする相手を見つけて笑い合っていた。
- * かまどでの調理も日を追うごとに手際よくなり、みんな自ら動けるようになった。
- * ファイヤーの時、初参加の子の隣で実行委員長が「ダンス大丈夫？初参加の時はみんなそうだよ。来年来たらもっと踊れるようになるよ。」と話しかけながら盛り上げていたのにも感激した。

実行委員会への参加と部活との両立は大変だっただろう、もうやらないと言うかな？と思っていたが、「実行委員になってキャンプが楽しかった！また来年もやりたい！今度はもっと完璧にやりたい！」等だった。子どもたちのエネルギーは計り知れない。これからも子どもたちに寄り添い、見守り続けていきたいと思う。（大人のスタッフへの聞き取り・文責：滝口淳子）

編集後記

記録的な長雨と、日照不足に見舞われた9月が過ぎ、文化庁の芸術家派遣事業を中心に、各事業が目白押しとなり、理事全員が房総半島を飛び回っています。子どもたちの笑顔や芸術家との出会いによる驚きの体験を、同時に行っている市町村行政訪問で、子どもに関する課の職員にお伝えしています。子どもたちの笑顔を、お天道様にもしっかりと見てもらいたいです。（滝口）



舞台 なま情報

- 県内の子ども劇場の鑑賞会で観たい作品がありましたら直接その団体にお問い合わせください。
- 下見等については千葉県内の申し合わせ
 - ・ 役員の下見は5名まで無料
 - ・ その子どもは1人1,000円
 - ・ その他は1人2,000円
(子ども、おとな同額)

第82号別冊 <2016年11月～2017年1月>

舞台劇

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
◇ 表現教育研究所	かぜのうた	11/4	11:15	成田市中央公民館	成田	4才未満の親子
◇ (株)フットプリント	どうぞのいす	11/26	11:00	四街道市文化センター208号室	四街道	幼児～小1の親子
◇ 劇団俳協	おれたち、ともだち!	12/3	10:45	袖ヶ浦市民会館中ホール	袖ヶ浦	乳幼児～大人
◇ イッツフォーリーズ	小さい“つ”が消えた日(ミュージカル)	12/23	17:00	習志野市民会館	ならしの	3才～大人
◇ シアター2+1	ロマンティックコメディー・十二夜	1/29	未定	市川市文化会館小ホール	市川行徳	小4～大人
◇ 劇団風の子	なんかよーかい	1/29	14:00	勝田台文化センター	八千代	幼児低学年

人形劇・影絵劇

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
☆ 人形劇団じろっぼ	大きな木根 他	11/13	11:30	南行徳市民センター多目的ホール	市川行徳	幼児～大人
☆ 人形芝居燕屋	肩掛け人形芝居「さんまいのおふだ」	11/23	15:00	佐倉市西部地域福祉センター	佐倉	幼児～小学生
☆ 人形劇団ひとみ座	美女と野獣	12/17	18:00	成田国際文化会館大ホール	成田	3才～大人
☆ ホケキョ影絵芝居	影絵人形作りのワークショップ	1/22	13:00	美浜文化ホールリハーサル室	千葉西	小学生
☆ ホケキョ影絵芝居	晴琉屋フン次郎 一人旅ピュ～「桃の浮舟」	1/22	17:30	美浜文化ホールリハーサル室	千葉西	中学生～大人
☆ あ・ぶ・ぶ人形劇場	こいぬとこねこのゆきだるま	1/29	未定	習志野市谷津公民館	ならしの	3才～未就学児
☆ 人形劇団京芸	おもしろげきじょう	1/29	13:30予定	イオン稲毛文化ホール	千葉北	低学年

音楽

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
♪ ロバの音楽座	森のオト	11/3	17:00	千葉県教育会館ホール	千葉中央	幼児～大人
♪ オペラシアターこんにゃく座	オペラ「口はロボットの口」	12/23	14:00	行徳文化ホールI&I	市川中央	5才～大人

芸能・他

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
◎ 蒼い企画	コラージュライブ	12/3	18:30	船橋市宮本公民館講堂	船橋	小学生～大人
◎ パントマイムブラネット	ちよつとぼうけん	1/28	14:00予定	富里市北部コミュニティセンター	成田	小学生未満

きらきらわくわく情報

2016年11月～2017年1月

活動	日程	場所	主催団体	
▪ およこサークル わいわいキッズ	11/1.25,12/9,1/13.27	市川駅南公民館	市川中央	乳幼児の活動
▪ 乳幼児とママのための居場所 ほわりん	11/1.17,12/15,1/19	袖ヶ浦市代宿児童館	袖ヶ浦	
▪ 乳幼児の親子のためのサークル ぶらんこ	11/4.18,12/2,1/13.27	流山市内公民館	流山	
▪ おしゃべりほっとスペースきらきらひろば	11/4.18,12/2.16,1/20	市川市信篤公民館	市川中央	
▪ 乳幼児とお母さんのたまり場 たまごキッズ	11/4.11.18.25,12/2.9.16	四街道市四区集会所	四街道	
▪ おしゃべりほっとスペース こーひーかつぶ	11/7.21,12/5.19,1/16	市川市菅野公民館	市川北	
▪ およこサークル わくわくキッズ	11/8.22,12/6.13,1/17.31	市川市勤労福祉センター	市川中央	
▪ 幼児サークル クレオンクラブ火曜日	11/8.22,12/6,1/10.24	市川市行徳駅前公園研修室	市川行徳	
▪ 青空保育 どんぐりクラブ	11/8.22,12/6.13,1/10.24	白井市内公園他	白井	
▪ 0～3才親子の居場所 ぴよんぴよんクラブ	11/9.30,12/14,1/25	八千代市ふれあいプラザ	八千代	
▪ およこサークル ぴよんぴよんキッズ	11/10.17,12/1.8,1/12.26	市川市信篤公民館	市川中央	
▪ おしゃべりほっとスペースぴよぴよひろば	11/10.24,12/8,1/12.26	市川市鬼越鬼高地ふれあい館	市川中央	
▪ 幼児サークル クレオンクラブ木曜日	11/10.24,12/1,1/12.26	市川市行徳公民館	市川行徳	
▪ 1才半くらいとそのお母さんのあそび体験 Active Kids	11/10.24,12/8.17,1/12.26	千葉市小中台地域福祉交流館	千葉北	
▪ 乳幼児と親のワークショップ 親子リズム体操	11/10.24,12/8,1/19.26	千葉市子ども交流館多目的室	千葉中央	
▪ 親子クラブ プレんじ	11/11.25,12/2.9,1/13	市川市曾谷公民館	市川北	
▪ 乳幼児とお母さんのための遊びの場 ぴっぴ	11/14.24,12/1.12,1/12.23	主に神納コミュニティセンター	袖ヶ浦	
▪ 母と乳幼児のほっとスペース はっぴいスペース	11/17,12/1.15,1/19	千葉市小中台地域福祉交流館	千葉北	
▪ 乳幼児親子の体験・交流の場 ままんべいび コンサート	11/21	袖ヶ浦市長浦公民館	袖ヶ浦	
▪ はじめての親子ヨガ～1才児と一緒に	11/22	市川市大野地域ふれあい館	市川北	
▪ 幼児サークルのびのびキッズ たのしい音あそび	12/8	成田市中央公民館	成田	
▪ 親子のひろば るーぷる クリスマス会	12/18	松戸市柿木台公園体育館	まつど	
▪ 乳幼児とお母さんのたまり場 たまごキッズ	1/13.20.27	四街道市四区集会所	四街道	
▪ 子育て広場 はっぱのおうちwithおそと	毎週火・木	こどもユニットWakaba事務所	Wakaba	
▪ 親子体操&てあそびうた	毎月第4木曜	習志野市屋敷公民館	ならしの	
▪ 乳幼児サークル	毎月下旬	印西市内集会所	いんざい	
▪ 第二次食料争奪戦争from中高青サークル	11/13	船橋県民の森	白井	高学年の活動
▪ 中学生以上の交流会「林魚っ(りんぎょっ)」	11/26～27	松戸市天神庵	流山	
▪ 和太鼓体験2016	11/5.6	八千代市市民会館	八千代	講演会・学習会 ワークショップ
▪ 絵本と遊びのフォーラム絵本で広がる遊びの世界	11/8.10.11,12/6.8.9,1/22	市川市勤労福祉センター他	市川中央	
▪ イッツフォーリーズによるミュージカルダンスワークショップ	11/12	習志野市実籾コミュニティホール	ならしの	
▪ 木村泰子さん講演会(「みんなの学校」上映終了後)	11/13	八千代市立八千代台小学校	八千代	
▪ アナログツアー～面倒なことを楽しもう～	11/13	佐倉城址公園周辺	成田	
▪ 子どもの体験ひろば ウィンターフェスタ2016	11/20	八千代市勝田台文化センター	八千代	
▪ 柴田愛子さん講演会	11/23	流山市生涯学習センター	流山	
▪ チャイルドラインから見える子どもの現状	1/14	成田市赤坂ふれあいセンター	成田	
▪ ホケキョ影絵芝居 影絵人形作りのワークショップ	1/22	千葉市美浜文化ホールリハーサル室	千葉西	

	活動	日程	場所	主催団体
いろいろ体験活動	▪ 大人ランチ会	11/1	印西市船穂コミュニティセンター	いんざい
	▪ 放課後子ども教室 出会い体験夢ひろば	11/2.4.9.11.16.18.25.30	四街道市四区集会所	四街道
	▪ ハロウィーン	11/3	白井市立清水口小学校と周辺	白井
	▪ リラックスココヨガ	11/4.18.12/2.16	市川市曾谷公民館	市川北
	▪ パパもビックリ!不思議なデザート&工作	11/5	船橋市菜園台公民館	船橋
	▪ 100人キャンプ	11/5～6	市川市少年自然の家	市川行徳
	▪ 子ども和太鼓教室	11/6～1/15 8回(予定)	須和田の丘支援学校・大野地域ふれあい館	市川北
	▪ 子どもの創造表現フェスティバル	11/6	八千代市市民会館	八千代
	▪ みんなで遊ぼう! 忍者修行	11/6	千葉市立大木戸小学校	緑区
	▪ バルーン工作にチャレンジ!	11/13	船橋市中央公民館	船橋
	▪ だんごまつり準備 折り紙教室 飾り作り	11/13	印西市船穂コミュニティセンター	いんざい
	▪ あそびの会 やきいもパーティー	11/13	千葉市100万本こもれびの里	千葉北
	▪ ママたちのエアロビクラブ シェイク	11/14.21.12/5.1/16.23	市川市曾谷公民館	市川北
	▪ 森の中で不思議な料理!?	11/19	船橋市大神保キャンプ場	船橋
	▪ 大根堀り	11/19	八千代市勝田の畑	八千代
	▪ げきじょうっ子まつり	11/20	流山市総合運動公園他	流山
	▪ わんぱく広場	11/20	市川市南部公園	市川行徳
	▪ 子どもフェスティバル	11/20	松戸市金ヶ作自然公園	まつど
	▪ 不思議なデイキャンプ!?	11/20	船橋市上山公園	船橋
	▪ 月例自然遊び体験 基地作り	11/20	千葉市山崎さんちの空き地	Wakaba
	▪ あつまれ! こども忍者	11/23	野田市立北部小学校体育館	野田
	▪ 2016親子で防災デイキャンプ	11/23	市川市大洲防災公園	市川中央
	▪ 房総まつり 寿司切って! 太巻き寿司	11/23	船橋市金杉台団地集会所	船橋
	▪ イルミネーション点灯式	11/23	千葉ニュータウン中央駅前アルカサル	いんざい
	▪ 子どもがつくるまち ミニ☆いちかわinコルトン	11/26.27	市川市ニツケコルトンプラザ	市川中央
	▪ 秋の交流会 キャンプだ! みかん狩りだ!	11/26～27	常総市水街道あすなろの里	八千代
	▪ アフタフバーバンによる忍者～昼の修行～	11/27	習志野市勤労会館とその周辺	ならしの
	▪ 冒険遊び場	11/28	松戸市金ヶ作自然公園	まつど
	▪ 放課後子ども教室 出会い体験夢ひろば	12/2.7.9.14.16.21	四街道市四区集会所	四街道
	▪ 逃歩中	12/4	市川市里見公園(予定)	市川北
	▪ クリスマス会	12/18	未定	白井
	▪ 成人を祝う会/盛り上げ隊①親子クッキング	12/18	印西市内公民館	いんざい
	▪ 3Dケーキで好きなものを作ろう!	12/18	千葉市あすみが丘プラザ	緑区
	▪ 子どもから大人まで遊ぶ あそぼの会 クリスマス会	12/22	流山市初石公民館	流山
	▪ 月例自然遊び体験 こども忘年会	12/26	こどもユニットWakaba事務所	Wakaba
	▪ 成人を祝う会/盛り上げ隊②	1/10	印西市内公民館	いんざい
	▪ 放課後子ども教室 出会い体験夢ひろば	1/6.11.13.18.20.25.27	四街道市四区集会所	四街道
	▪ 冬の森の手入れ	1/21	印西市そうふけの森	いんざい
	▪ 月例自然遊び体験 まきまきパン	1/22	千葉市山崎さんちの空き地	Wakaba
	▪ 古民家でまが玉作りと火おこし体験	1/22	千葉市緑区小山町古民家	緑区
▪ 成人を祝う会	1月中旬	印西市内公民館	いんざい	

子どもと文化 イベント情報

◆ 子ども和太鼓教室

11月6日(日)9:00~10:30
以後 1月15日(日)まで計8回(予定)
場所:須和田の丘支援学校・大野地域ふれあい館他
対象:小学生以上・親子参加OK
参加費:参加登録料1人1,000円
主催/(特)市川子ども文化ステーション
北地区Tel.047-339-7744

◆ 絵本と遊びのフォーラム ~絵本で広がる遊びの世界Ⅲ~

①11月8,10,11日(火,木,金)10:00~11:30
食育講座・布おもちゃ工作(託児あり)
②12月6,8,9日(火,木,金)10:00~11:30
パネルシアター公演・親子あそび
③1月22日(日)10:00~15:00
絵本に出てくるおいしいものを作って食べよう
市川市勤労福祉センター・市川市信篤公民館・市川市駅南公民館 対象:幼児~大人
参加費:①親子で500円(材料・託児代込)
②親子で500円 ③4歳以上500円
主催/(特)市川子ども文化ステーション
中央地区Tel.047-332-3024

◆ イッツフォーリーズによる ミュージカルダンスワークショップ

12/23の公演ワンシーンに出演できます
11月12日(土)14:00~16:30
場所:習志野市実科コミュニティホール
対象:小学生以上 定員30名 公演当日参加できる方
参加費:5,000円(舞台鑑賞券付)
主催/ならしの子ども劇場
Tel.047-451-3676

◆ 人形劇鑑賞会「大きな大根」他

人形劇団じろっほ公演・市川市家族の週間参加事業
11月13日(日)11:30開演
場所:南行徳市民センター多目的ホール
対象:幼児~大人
参加費:2才~大人1,300円 親子ペア2,500円
主催/(特)市川子ども文化ステーション
行徳地区Tel.047-395-7670

◆ 「みんなの学校」上映会

11月13日(日)9:40開演
11:40~木村泰子さん講演会
場所:八千代市立八千代台小学校
対象:小学生~大人
参加費:大人1,000円 18才以下500円
主催/子どもと教育を語るつどい
問合せ/(特)子どもネット八千代047-486-4699

◆ 子どもの体験ひろばウィンターフェスタ2016

11月20日(日)10:00~16:00
場所:勝田台文化センター 対象:幼児小学生
参加費:①劇団風の子「親子で楽しい劇遊び」1人500円 ②ホケキョ影絵芝居「影絵人形を作って動かそう」1,000円
主催/(特)子どもネット八千代047-486-4699

◆ 柴田愛子さん講演会

「お母さん、それは悩むことはありません」
11月23日(水祝)13:30~15:30
場所:流山市生涯学習センターA101~103会議室
対象:大人 参加費:1人500円 定員80名
主催/心が軽くなる♪事業実行委員会、流山おやこ劇場
問合せ/(特)流山おやこ劇場04-7152-0446

◆ 2016親子で防災デイキャンプ

異年齢で協力して楽しく防災意識を高めよう
11月23日(水祝)10:00~15:00
場所:市川市大洲防災公園 対象:幼児~大人
参加費:小学生~大人1人500円 幼児200円
主催/(特)市川子ども文化ステーション
中央地区Tel.047-332-3024

◆ 人形劇鑑賞会「さんまのおふだ」

人形芝居燕屋の楽しい肩掛け人形芝居
11月23日(水祝)15:00開演
佐倉市西部地域福祉センター 幼児から小学生
参加費:1人1,500円 ペア券2,500円
主催/(特)NPO佐倉こどもステーション
Tel.043-487-1655

◆ イルミネーション点灯式

誰でも参加できます
11月23日(水祝)午後
場所:印西市アルカサル中庭広場
主催/(特)いんざい子ども劇場
Tel.0476-46-6287

◆ 子どもがつくるまち

「ミニ☆いちかわinコルトン」
幼児版の「ミニ☆いちかわ」
11月26,27日(土,日)10:00~15:00
場所:ニッケコルトンプラザ
対象:3才~6才の幼児親子
参加費:親子1組500円
主催/(特)市川子ども文化ステーション
中央地区Tel.047-332-3024

◆ だんごまつり「みんなのカフェ」

カフェは子どもが給仕をします
11月26日(土)13:00~16:00
11月27日(日)12:00~15:00
場所:印西市市民活動支援センター
主催/印西市市民活動支援センター
問合せ/(特)いんざい子ども劇場0476-46-6287

◆ クラウン,ガムラン,マジック共演! 競演!「コラージュライブ」

12月3日(土)18:30~19:45
場所:船橋市宮本公民館講堂
対象:主に小学生~大人
親子券2,500円 子ども1,000円 大人2,000円
主催/(特)船橋子ども劇場047-424-0851

※(特)は特定非営利活動法人を略しています
※参加申込、場所、参加費、時間等の問合せは
各主催団体をお願いします。

◆ ちばこどもおうえん広場

子どもの虐待防止オレンジキャンペーン活動
千葉県子どもの人権懇話会,荒巻みっちゃん
と表現あそび,悠々ホルンさんミニライブ他
11月3日(水祝)10:00~16:00
Qiball 3階子ども交流館 1階さぼーる広場 入場無料
主催/千葉県児童福祉施設協議会,
ちばこどもおうえん広場実行委員会
共催/日本子ども虐待防止学会ちば大会実行委員会
問合せ/(特)子ども劇場千葉県センター043-301-7262

◆ 劇団俳協「おれたち、ともだち！」

内田麟太郎原作絵本の音楽いっぱい劇
12月3日(土)10:45~11:55
場所:袖ヶ浦市民会館中ホール
対象:乳幼児~大人
子ども1,000円(2才以下無料) 大人2,000円
主催/(特)子ども一ぶく浦0438-63-2850

◆ 「みんなの学校」上映会

12月17日(土)10:00/14:00/18:00
場所:野田市櫛のホール
対象:子ども~大人 参加費無料
主催/(特)野田子ども劇場04-7124-8419
共催/櫛のホール・野田公民館
協賛/野田市手をつなぐ親の会

◆ 人形劇鑑賞会「美女と野獣」

人形劇団ひとみ座公演
12月17日(土)18:00~19:30(17:30開場)
当日座席指定16:30~
場所:成田国際文化会館大ホール
対象:3才~大人(3才以上入場可)
参加費:2,500円(当日3,000円)
主催/(特)子どもプラザ成田0476-29-1387

◆ オペラ「口はロボットの口」

オペラシアターこんにやく座公演
12月23日(金祝)14:00~16:15(13:30開場)
場所:行徳文化ホール&I
対象:5才~大人(5才以上入場可)
参加費:子ども2,300円 大人2,700円 親子ペア券4,500円他
主催/(特)市川子ども文化ステーション
中央地区Tel.047-332-3024

◆ ホケキョ影絵芝居を楽しもう

1月22日(日)①13:00~15:30
影絵人形作りワークショップ(親子20組)
②17:30~18:30 晴琉屋フンの影絵劇
「一人旅ピュー桃の浮舟」(中学生以上)
場所:美浜文化ホール 参加費未定
主催/千葉西おやこ劇場043-272-1416

◆ 鑑賞会「ロマンティックコメディ ・十二夜」シアター2+1公演

1月29日(日)時間未定 市川市文化会館小ホール
対象:小4~大人 参加費未定
主催/(特)市川子ども文化ステーション
行徳地区Tel.047-395-7670

	団体名	Tel.	団体名	Tel.
千葉県 内子 ども と 舞 台 芸 術 ・ 文 化 団 体 一 覧	● NPO法人 野田子ども劇場	04-7124-8419	● NPO法人 子どもプラザ成田	0476-29-1387
	● NPO法人 流山おやこ劇場	04-7152-0446	● 千葉西おやこ劇場	043-272-1416
	● NPO法人 市川子ども文化ステーション	047-395-7670	● NPO法人 こどもユニットWakaba	043-232-0045
	● NPO法人 市川子ども文化ステーション中央地区	047-332-3024	● 千葉北おやこみるあそび会	043-241-1142
	● NPO法人 市川子ども文化ステーション北地区	047-339-7744	● NPO法人 緑区子どもサポートセンター	043-308-4436
	● NPO法人 市川子ども文化ステーション行徳地区	047-395-7670	● NPO法人 千葉中央おやこ劇場	043-251-0142
	● NPO法人 子どもっとまつど	047-344-2272	● NPO法人 四街道こどもネットワーク	043-423-5381
	● 浦安子ども劇場	080-6651-9175	● やちまたおやこ劇場	043-442-0084
	● NPO法人 船橋子ども劇場	047-424-0851	● NPO法人 子どもるーぶ袖ヶ浦	0438-63-2850
	● NPO法人 ならしの子ども劇場	047-451-3676	● NPO法人 いちかわ市民文化ネットワーク	047-369-7522
	● 白井子ども劇場	047-491-2163	● NPO法人 子育てネットワークゆっくっく	04-7129-8089
	● NPO法人 NPO佐倉こどもステーション	043-487-1655	● NPO法人 里山会	047-482-4613
	● NPO法人 子どもネット八千代	047-486-4699	● 千葉県子ども核廃	047-457-2065
	● NPO法人 いんざい子ども劇場	0476-46-6287	● NPO法人 子ども劇場千葉県センター	043-301-7262